

クラッシー

CLASSY

発行 筑後八女地区 西日本新聞エリアセンター
企画 イースタンコミュニケーションズ
印刷 株式会社 東兄弟 TEL 0943-24-2111
八女市祈禱院5 6 3 〒834-0025
HP:www.dcity-yame.com

クラッシーのバックナンバー（2010.1.1号より）がインターネットでご覧になれます。
「デジタルシティやめ」→クラッシー→検索

2 FEB

	日	月	火	水	木	金	土
3	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

日 SUN	月 MON	火 TUE	水 WED	木 THU	金 FRI	土 SAT
1 12月13日 赤口	2 14日 先勝 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	3 15日 友引 なんでも人権相談所 (矢部公民館)	4 16日 先負 なんでも人権相談所 (八女市役所星野支所)	5 17日 仏滅 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502	6 18日 大安 なんでも人権相談所 (八女市社会福祉会館) (地域福祉センター)	7 19日 赤口 道の駅たちばな誕生祭 ～15(回)まで 楽しいイベント盛りだくさん。 第11回筑後市ジュニア美術展 ～15(回)まで (サンコア)
8 20日 先勝 八女軽トラ市9:00～12:00 (八女観光物産館駐車場)	9 21日 友引	10 22日 先負 無料弁護士法律相談 13:30～(八女民主商工会会議室) 要予約 24-2727	11 23日 仏滅 建国記念の日	12 24日 大安	13 25日 赤口 なんでも人権相談所 (地域交流センター)	14 26日 先勝
15 27日 友引	16 28日 先負 べんがらの日(べんがら村) 大浴場お一人様300円	17 29日 仏滅	18 30日 大安 なんでも人権相談所 (筑後市勤労者家庭支援施設) (立花市民センター) 社会保険個別相談会 10:00～16:00(八女商工会議所) 要予約 ☎ 22-5161	19 1月1日 先勝 弁護士無料法律相談 (福岡法務局八女支局) 要予約 ☎ 050-3383-5502 なんでも人権相談所 (広川町はなやぎの里)	20 2日 友引 定例法律相談会(要予約) 10:00～12:00 (八女商工会議所) ☎ 22-5161 長崎県新上五島町物産展 ～22(回) (道の駅たちばな)	21 3日 先負 人生史サークル黄檗の会 (福祉会館) 夢たちばな観梅会 ～3/1(回) (谷川梅林) 久留米絃文化博 ～22(回) (九州芸文館)
22 4日 仏滅 雛の里・八女ぼんぼりまつり オープニングセレモニー・パレード、ひなマルシェ (八女文化会館) 八女軽トラ市9:00～12:00 (八女観光物産館駐車場) 立花町観梅会ウォーク (八女歩こう会)	23 5日 大安	24 6日 赤口	25 7日 先勝	26 8日 友引 お風呂の日(特典あります) (グリーンピア八女)(公園の宿) (温泉館きらら)(べんがら村)	27 9日 先負	28 10日 仏滅 市民劇 いわい公演 (おりなす八女)



心配ごと相談(八女市)

八女市社会福祉会館 2月4日・18日
黒木町ふじの里 2月4日・18日
上陽町地域福祉センター 2月25日
立花町かがやき 2月25日

法律相談(要予約)

八女市社会福祉会館 2月13日
黒木町ふじの里 2月20日
上陽町地域福祉センター 2月27日

司法書士相談

黒木町ふじの里 2月13日
八女市社会福祉協議会 2月20日

筑後市

心配事相談
毎週木曜日／総合福祉センター
健康に関する総合相談
毎週金曜日／筑後市立病院

くるぎふるさと日曜市 毎週日曜日
上陽ふるさと市 毎週土曜日

○読み聞かせ 八女市立図書館(本館)
毎週土曜日 午後2時～
ゆめみらい図書館(黒木分館)
毎月第2土曜日 午前11時～
○赤ちゃん読み聞かせ 八女市立図書館(本館)
毎週土曜日 午前11時～
ゆめみらい図書館(黒木分館)
毎月第2土曜日 午前11時～

「関門の海峡早春風つよし」
こんな一句をつぶやき、久しぶりに下関の展望台に立ったのは、去る一月十八日。今年には『麦と兵隊』『花と龍』の作家火野葦平55回の葦平忌案内。若き日の文学青年、東京生活時代。『九州文学』江戸在住同志で同人誌『隊商』刊行。柳川出身、「あさくさの子供」を描いた芥川賞作家長谷健先輩の紹介で参加した時期。▼当時、火野先生は新聞雑誌連載等で大繁忙でありながらも、石炭積みだし仲仕、「玉井組」の親分の出「義理と人情、気くばりも細やかな俠気の肌、新春の集いにはきまつて顔だし」若輩の私どもにも懇切に近況を聴きとられ、盃を賜ったことは有難く忘れられない。なかでも「就職の紹介も少なからずだが、礼状のハガキ一枚、書けないような若僧はダメだね」と、親分らしい訓戒は今に記憶鮮明。▼左様なことも想起。早や86の齢。元氣なうちに今一度とはとの思いたち。親友の俳人風門さんを誘い、彼の車運転。午前のうちに下関へ。市民会館イベント「幕末維新を彩った花・(女)繚乱」を見、若松高塔山の『葦平忌』へ。祇園太鼓に河童踊りも一。おしまいには「麦と兵隊」の合唱。「腕を叩いて、遙かな空を仰ぐ瞳に雲が飛ぶ、遠く祖国を離れ来てしみじみ知った祖国愛、友よ、来て見よあの雲を……」唄いながらなぜか胸熱くなった。

火野葦平より
早春「花と龍」
の風に
詩人 椎窓 猛

クラッシー文芸

■くすの実俳句会

標も歩けぬ白といふ世界 吉泉 守峰
農棄てぬ冬野の中の一軒 寺田 睦子
休み田に冬野の兆し草の 鍋島 翔山
色 風通る道のありしか片紅
葉 初氷木の葉抱きて光りぬ 松尾アサ子
冬 松尾アサ子
請 青木 早弓
■立花俳句会(11月)
柿三つ竿の届かぬ木守柿 中尾カヲル
花八手ここに植えたる覚 西島志乃美
えなく 橋本ミユキ
年の暮寺の鐘にも愁ひあ 天高く山のキャンパス紅
葉濃き 深町 和子
九年庵の苔にもみじの一 中村テルヨ
と葉散る 末継ミヨ子
紅葉路掃くを惜しみて秋 城後 正子

抱きし孫芋の葉揺れに首を振る 武田 行夫
老二人脳トレパズル秋の宵 原 宣子

■ひろかわ俳句会(12月)

山里は冬一色に染まりを 酒井 司
大雪や笠かぶせたき道祖神 一瀬砂智子
「不器用でごめんなさい」と毛糸帽 美座 時朗
行列の牡蠣小屋五軒海光 原口あつ美
ライバルの友の訃報や冬 水本 艶子
銀河 日向ぼこ生きてる證の爪を切る 御厨とみ子
吾老いし八日も遠し十二月 松延 朝美
寒月や雲一片もよせつけ 山崎 陽子
■陽泉俳句会(11月)
日が沈む光 一条冬野切る 吉泉 守峰
突然の友の訃報や時雨来 荒川ミヤ子
この一歩踏むをためらふ 散り紅葉 城後 正子

混雑の人の隙間の薄紅葉 大坪 清香
地図になき径を歩いて柿 紅葉 大坪 延子
秋の暮緞拭く時や心満つ 倉ノ下和代
森行けば落葉に落葉積もりをり 中村 境子

■八女睦句会

席移しそこにもありし隙間風 堤 呼秋
芥子にて酒の引き立つおでんかな 松尾 貞義
築五十年来し方運ぶ隙間風 城戸 和子
風 玻璃越しに四温の日射したつぷりと 大坪 栄子
LEDの明かりに集ふ冬の夜 伊藤 幸子
工事中迂回強ひらる年の暮 穴見ミキエ
川上へさざ波はしる冬の川 牛島佐智子
おでん鍋心安らぐ夕餉かな 山口 弘子

■八女紫苑句会

堤 呼秋選
ザクと踏み笑ひたくなる霜柱 松崎 伸子
小春日や愁ひを帯びる夢二展 松延みさと
山男化粧の奴村祭り 牛島 景子

■立花短歌会(十二月)

足傷め歩けぬ苦しみ身にしみる事故は一瞬あとは不自由 中村サチ子
風無きにハラハラと散る山紅葉参道埋めて神殿へと誘う 野中 裕政
雨風に吹き飛ばされて舞う枯葉次の命へバトン渡して 中島 睦美
風寒くふところ寒き年の瀬の選挙に元気な先生駆けける 田中たつじ
北風に吹かれ舞い飛ぶ柿の葉はうすくれないの色を残して 松尾ミサキ
真夏日には日傘となりいし白モクレン一夜の風雨にその葉落せり 橋本 泰州
耳納よりの北風強き今日もまた年賀欠礼の知らせ舞い込む 井上 精
風に乗り巷に拡声器は響くなり未来を決める声とし 鶴 隆治郎

橋の丹にまさる紅葉の彩 映ゆる 堤 多鶴子
尊孫生る春まで待ちの初対面 田中サトリ
賑にぎと迷ひ箸しておでん鍋 中川原篤子



楽しい絵手紙



八女市稲富

伊藤 幸子

はつらつ絵手紙教室に入会して、捨てきれずにいた子供の使い残しの絵の具も日の目を見る

事になりました。鋏と鎌しか持った事のない私、葉書一枚に四苦八苦、先生の手ほどきでどうにか絵になった十二枚を選びマイカレンダーを作りました。何時か友達に季節の便りを出せるようになりたいと思います。葉書一枚に構図、色の濃淡、語句の入れ方、回を重ねる毎に奥の深さを痛感しています。
今年が古稀。「七十の稽古始めの絵筆かな」下手だけど無心に描く一時が好きです。「下手の横好き」。教室の皆さんと楽しくおけい古に励みたいと思います。

ベターホームの楽しい cooking

とり肉と大豆の和風煮



好評発売中

かんたん美味6
¥1296 (税込)

本や調理道具のカタログは送料無料でお届け。お気軽にご請求ください。
〒810-0001 中央区天神 2-13-17 ベターホーム宛

材料(4人分)

とり手羽中(スペアリブ) 20本(350g)
しょうゆ 大さじ1/2
ゆでたけのこ 150g
大豆(水煮) 150g
しょうが 1かけ(10g)
サラダ油 大さじ1
湯 カップ2
酒 カップ1/2
砂糖 大さじ2/3
しょうゆ 大さじ2
みりん 大さじ1

作り方

- ① 肉にしょうゆをもみこむ。
- ② しょうがは皮をこそげ、薄切りにする。たけのこの穂先はくし形に切り、残りは2〜4つ割りにし、1cm厚さに切る。
- ③ 鍋に油を温め、肉の表面を焼く。焼き色がついたら、しょうがとAを加える。沸とうしたらアクをとり、ふたをずらして中火で約5分煮る。
- ④ ③にたけのこ大豆を加える。ふたをずらしてのせ、中火でさらに約10分煮る。(時間があれば、ふたをとって汁気がほとんどなくなるまで煮ると、つやよく仕上がります)

●ベターホームの本のお申込みは、電話、FAX、インターネットで受付中。
☎092-714-2411 FAX092-711-7830
URL <http://www.betterhome.jp>

九州屈指の秘境祖母山



「無事に家に帰り着くまでが山登り」とは良く言われることである。昨年は合計24回の登山だった。飛形山で孫が行方不明になったり、背振山では道に迷ったり、まさに過信は禁物の一年だった。中でも一番ハードだったのが10月に登った祖母山(1756m)だった。メンバーは私と4人のわけもん、朝7時標高600mの登山口をスタートする。目指す左手に天狗岩から右端に祖母山の稜線がそびえる難ルートだ。川上溪谷沿いにトレイルが始まり、素晴らしい渓谷美を堪能。その後は遠々と続く急勾配に下半身が悲鳴をあげる。それでも第一のピークの天狗岩の岩峰に立つと、目がくらむような高さだった。その後はゆるやかな稜線歩きのはずだが、I氏の足がけいれんし大粒の汗が落ちる。何度も休憩しながら彼の「大丈夫です、行きます」の声に再スタートする。最後は難関の崖登りだ。梯子とロープを使い高度を上げると「やっと着いたバイ!」。

なんと5時間30分もかかり祖母山着となる。今日は視界も良く、すいこまれそうな絶景に歓声が上がる。さて後半は1156m下らなければならぬ。ここでもアクシデント、M氏が過労で足が動かない。仲間の励ましと協力で足を引きずりながら夕方5時ゴールとなった。苛酷で長い10時間だったが、5人のチームワークで「無事に家に帰り着く」素晴らしい一日だった。八女文化連盟写真部 樋口 清人

孤独死と呼ばないで

お隣の庭を挟んで建つ和子さんの家から灯りが消えて一年。雨戸を閉めながら、和子さん早く良くなつてね!と、声に出して言うのが、私の日課となった。

膠原病の和子さんを支えてきたご主人が癌に倒れ、呆気なく亡くなって五年が経つ。暫らく落ち込んでいた和子さんだったが、「自分は我が儘だから娘と同居は難しい。ヘルパーさんとお弁当の宅配を利用して、何とか一人でがんばってみるわ」と、明るく話した。時々、得意の御点前を披露してくれ、私たちをお抹茶でもてなしてくれた。

花の季節、近くの桜並木を巡るドライブに誘った。迎えに行くとき、お洒落をして門まで出て待っていた和子さん。「嬉しくて昨夜は眠れなかった」と、一言、少女のようにはにかみながら話した顔が忘れられない。

和子さんの家に救急車が来たのは去年の二月。ヘルパーさんが訪れた時、和子さんはすでに意識不明で居間に倒れていた。

その日から和子さんは眠り姫となった。洗濯を干しながら、元氣?と手を振り合ったお隣のベランダが、やけに遠い。

ヘルパーさんの来るのが少し遅かったなら孤独死だったね、と、言う人もいる。でも、私はそうは思わない。独居の者が、誰にも看取られず旅立つことを孤独死と呼ぶのはもうやめよう。日々、周りの人々と暖かな繋がりを持つて生きていた人が、偶々、人生最後の瞬間一人だった、と言うだけの事だから。 夏生



街かど gallery



八女市新庄
島本 脩

幼少より時折座敷の掛け軸の絵を觀て、清らかで奥深く質素な山水の絵に神秘さを感じながらいつとなく目にする中に何時か自分も描いてみたいと思う様になっていました。還暦を遙かに過ぎたある日、幸運にも中島美代子先生の教室に巡り会えました。最初の頃は絵になりませんでした。筆の動きと墨の濃淡で表現する描写法等の丁寧な指導を頂くうちに、無心な気持ちと雑念の忘却した静寂の空間に浸れることの面白さを感じる様になってきました。しかし、筆を重ねれば重ねる程、自分の性格が薄っぺらで単純な性格を表現している事が垣間見え恥ずかしさを感じます。遅まきながら墨絵を描く人生を楽しむの友としてゆっくり付合って行こうと思っています。

健康よもやま話 ②



姫野病院：松浦 緑郎
(健康管理士一般指導員)

● 花粉症

一般に花粉症ときくと何やら病気でないような錯覚をいだいてしまいます。数ある病気のなかでも花粉などと艶めいた文字がついている病気は、そうあるものではありませんが、その多くはスギ・ヒノキ・ブタクサなど、花壇や花屋さんの花とはおおよそ無関係の、地味な花粉が原因で引き起こされます。

その症状はいうまでもなく、くしゃみ・鼻水・鼻づまり・眼のかゆみ・喉の腫れなど、目、鼻、喉のアレルギー症状が中心で、これが高じると、頭痛から睡眠不足、精神的イライラまで、多彩な症状が現れてきます。

日本人の花粉症の約7～8割はスギ花粉が原因だといわれていますが、このような現状のなかでよく耳にするのは「昔だって杉の木はたくさんあったけど、花粉症に悩む人なんか全然いなかった。」という言葉です。

この原因として、汚染された大気中の浮遊粒子が注目されています。というのも、この浮遊粒子はスギ花粉を吸着しやすく、吸着した形で吸入すると花粉症の発症が促進（アジュバンド効果）されてしまうからです。要するに、大気が汚染していればしているほど花粉症の症状はひどくなるのです。以前、車などの大気汚染が少なかった頃、スギの木が多かったのに花粉症の人がほとんどいなかったのは、こういう理由からです。

この他、食の欧米化や高気密な住環境、精神的ストレスなども大きく影響すると考えられています。言い換えるならば、花粉症は現代社会が引き起こした宿命であり、社会のありかたそのものに原因があるといえるのです。

花粉症になる人が増加の一途をたどる今、この高度に発達した近代文明は果たして人類に幸福をもたらしているのかどうか、私たちはもう一度よく考えてみる必要があるのかもしれない。

雛の里八女で一足早く春の訪れを告げるお雛様パレード。二月二十二日予定の園児のほほえましく可愛い、お雛様の行列が待ち遠しい。
八女ぼんぼり祭りは、伝統と町並を大切にし、外からのお客様をいざなう八女の早春の風物詩である。

八女川柳会 安達 昇



今月の山柳

こんにちは。
筑後警察署です。
⑦



たかはしたつり
筑後市大字和泉在住の高橋達法さん(88歳)が『平成26年秋の褒章』を受章し、平成26年11月14日、東京都のプリンスホテルで開催された受章式に出席されました。

高橋さんは、昭和55年ごろから筑後・羽犬塚校区内における防犯パトロール活動を率先して実施し、現在もその活動を継続されています。また、現在は「筑後市安全で安心できるまちづくり推進協議会」の会長や「筑後市防犯協会」の副会長等を務めるなど筑後市の防犯活動に尽力されています。

今回その功績が評価され、藍綬褒章(＝公衆の利益、公共の事業で事績著明な人に授与される褒賞)の受章となりました。高橋さんは受章式の中で、全国の受章者を代表して謝辞を述べる大役も務められました。

高橋さん、受章おめでとうございます。

生物利用科「新商品の試食および販売」

八女農業高等学校

みらい館で、毎週金曜日にパンの販売を行っています。新商品の開発を行い、昨年12月みらい館フェアで、販売班でオレンジピールとチョコチップ入りの全粒粉パンの試食および販売を行いました。このパンは、ハード系のパンで全粒粉を使用しており栄養価が高く、薄力粉と比較して3倍程度の食物繊維を含んでいるのが特徴です。たくさんのお客様に「おいしい」と言っていただきました。これからもみなさんに喜んでいただけるよう頑張っていきます。



2月の校内販売所(八女農みらい館)の開館日

3日(火)、6日(金)、10日(火)、13(金)、17日(火)、20(金)、24日(火)

販売時間は10時30分～12時30分です。多くの皆様のお越しを心からお待ちしています。

野鳥ウォッチング ②

ミヤマホオジロ (オス)

黄色い顔をした小鳥で、低い雑木や茶畑等の地面で「チツ・チツ」と鳴き常に左右を警戒しながら食物を探す冬鳥である。

アワ、ヒエ等の穀物を好物とし10月下旬から5月上旬頃まで見ることができる。

小学生のころは、頭部の毛が突起するので、「とっきんかぶり」と呼んでいた。

(矢部村)

栗原 浩暢



「三徳の家庭菜園」 ②⑤

【ニラ】～2～3年収穫したニラ株は冬季に株分け更新を～

餃子や卵とじ、雑炊に欠かせないニラは多年生で、一度植えておけば年に数回は収穫できる家庭菜園向きの大変貴重な野菜です。しかし、収穫を2～3年続けると、分けつによって根株が密生状態になって、幅広で厚みのある良質のニラ葉を収穫することができなくなります。その対策としては、収穫開始から2～3年後に株分け更新をすることです。

株分けの時期は、葉が枯れてニラ株が休眠状態に入っている冬＝今の時期（2月頃）が最適です。株分けの仕方は、まず地上に残っている枯れ葉を地際から4～5cmの高さで切除した後に、ニラの根株をスコップ等で大きめに掘り起こします。

掘り上げた後に土を落とした根株を、2～3の芽がついた根茎に手で小さく分割します。その根茎3本ほどを新たに作った畝に、深さ8～10cm、株間が20～25cmで植え付けます。その際、畝には前もって深さ10cmほどの溝を掘って、その中に基肥として堆肥や油かす、緩効性の化成肥料を施しておきましょう。その量は、溝の長さ1m当たり堆肥が約500g、油粕は30g、化成肥料は35gが目安です。

畝溝に植えた根株には上部がやや出るぐらいに覆土を行い、春からの新葉の伸張を待ちます。そうすると、春には見違えるほど勢いのよい、良質のニラ葉を収穫することができます。ニラ独特の臭いの素である硫化アリルは、胃腸の粘膜を刺激してエネルギー代謝を活発にする作用があると言われています。今年もニラを食べて元気に過ごしましょう。

福岡県農業大学校 非常勤講師 林 三徳



掘り上げたニラの株



小さく分割した根茎3本ほどを1カ所に、深さ8～10cmに植える

矢部川源流・杣の里の四季 ④⑩

シロバナネコノメソウ(白花猫の目草)[ユキノシタ科]

矢部村ではまだ寒い早春3月、谷沿いを登る釈迦岳登山道の湿った場所に群生して咲いているのを見ることが出来る。白く花卉のように見えるのは萼片、少し開きかけたところが猫の目のように見えてかわいい花である。（黒木町） 松尾 重根



知って得する郷土の食文化 ⑧

餅は縄文時代の後期に稲作とともに東南アジアから伝わったと考えられています。餅が季節行事ごとに供えられ、食されるようになったのは鏡餅が誕生した平安時代からのことです。古くから正月や節句、季節の行事や祝い事のようなめでたい日に食べるものとして現在まで伝えられてきました。

*餅ピザ

■材料 餅6～7個 トマト1個 玉葱半分 ベーコン3枚 ピザ用チーズ適量 ピザソース適量 オリーブオイル大さじ1

■作り方 ①餅を薄く半分に切りオリーブオイルをひいたフライパンに並べ、弱火で焼く。②具材を切り、トマト・玉葱はうすくスライスする。③餅を返し、ピザソースを塗り、切った玉葱・トマト・ベーコンをのせ、上からチーズをのせ8～10分焼いて出来上がり。

*だんだら粥

■材料 ご飯適宜 餅 出汁 ネギか三つ葉

■作り方 ①出汁を取り、ご飯とサイコロに切った餅を入れ中火で煮る。②煮えてきたらうすくち醤油と味噌で味を付け、器に入れ三つ葉かネギをのせる。

*きな粉餅

■材料 餅適量 きな粉適量 粉黒砂糖と白砂糖を半々に混ぜたもの 塩少々

■作り方 餅を焼き、熱湯につけた餅をきな粉で和える。

郷土料理研究家 樋口 愛子(八女市)



◆「久留米餅文様館」発刊
八女地方には他地方の工人さんが追従出来ない技術品が多いが、その一つに久留米餅の小柄文様作品があります。小柄の餅こそ八女地方の独特の文化といえます。小柄の餅はぎれ12枚をばった小冊子を八女伝統工芸館(2013131)で販売中です。一冊四百円。著者は民芸研究家の松田久彦さん。

◆古代日本と百済の交流
水城・大野城・基肄城が築かれて1350年。本展覧会では激動の東アジア世界を物語る出土品とともに、百済王ゆかりの品々や仏教美術を通じて「古代日本と百済の交流」の歴史をひもときます。
日時 3月1日(日) 毎週月曜日休館
観覧料 一般1400円 高大生1000円 小中生600円

◆徳永二男ヴァイオリンリサイタル
「いわい」第4回公演
筑紫の君磐井と百済の武寧王
日時 2月28日(土) 開演 13時30分
会場 おりなす八女
主催 ミュージカル劇団 さくら座

◆読者プレゼント
古代日本と百済の交流はベア1組、徳永二男リサイタルはベア3組の方へ。希望の方は住所、氏名、イベント名明記の上(株)東兄弟へハガキで応募下さい。2月6日締め切り、希望者多数の時は抽選によります。

※大塚整骨院、大塚史彦院長の「健康のツボ」は今月はお休みします。

2月の道の駅たちばな

おかげさまで10周年 誕生祭

道の駅たちばな 2015年 2月7日(土)→2月15日(日)

2月7日(土)～8日(日) ひよ子対面販売 10:00～

2月8日(日) ひよ子キャラバン隊 特別販売会実施

2月9日(月) あまゆう ロールケーキ 550円

2月10日(火) あまゆう ロールケーキ 550円

2月11日(水) あまゆう ロールケーキ 550円

2月12日(木) あまゆう ロールケーキ 550円

2月13日(金) あまゆう ロールケーキ 550円

2月14日(土)～15日(日) まんぷくコーナー

2月14日(土)～15日(日) スピードくじ

道の駅たちばな 立花町下辺春国道3号線沿 TEL 0943-37-1711

八女の春はたのしいこといっぱい!!

星野の湯まつり 2月21日(土)～22日(日)

2/21(土)～2/22(日) 道の駅たちばな 長崎県上五島町物産展

2/21(土)～2/22(日) 道の駅たちばな 長崎県上五島町物産展

2/21(土)～2/22(日) 道の駅たちばな 長崎県上五島町物産展

2/21(土)～2/22(日) 道の駅たちばな 長崎県上五島町物産展